

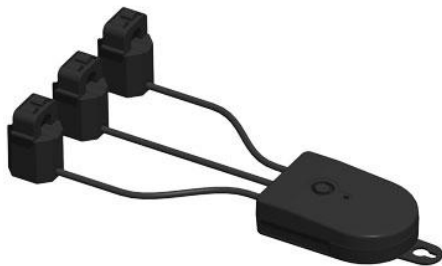
3相CTクランプセンサ V3

製品派生

周波数	1相当りの測定範囲	周波数対象	型番
928MHz 60A	1A - 60A (50Hz or 60Hz)	日本	CTV3_928_3CH_060A
928MHz 200A	2A - 200A (50Hz or 60Hz)	日本	CTV3_928_3CH_200A
928MHz 600A	2A - 600A (50Hz or 60Hz)	日本	CTV3_928_3CH_600A

概要

プレサックの3相CTクランプセンサは交流電流値を各CTクランプが測定し、無線出力により計測値の報告を行うセンサです。CTクランプが取り付けられた活線の測定点でセンサ駆動に必要なエネルギーを得（エナジーハーベスティング）、これにより電流値を測定、その測定値をエンオーシャンプロトコルを用いて30秒毎に無線送信し報告します。最大計測電流値に応じ60A, 200A, 600Aの3派生から製品選択が可能です。被覆されたケーブルにCTクランプを挟み込むだけの簡単な作業で取り付けが出来ます（特別な電気工事は必要ありません）。



特徴と利点

- 電源供給に影響を及ぼさない
- CTヘッド部と本体がモジュージャック接続の為リードが容易にまわせ取り付けが簡易
- ケーブルに挟み込むだけの簡単な取り付けで特殊工事等が不要
- 動作している機器の認識と電流値の測定
- 市場実績に裏打ちされた無線通信記述の採用（IEC/ISO 14543-3-10）
- エナジーハーベスティングの為動作電池は不要

* 取り付け後も電源系統や使用機器の動作に支障は起こしません。

製品操作手順

3本のRJ11リードをセンサ本体のソケットに確実に差し込んでください。各相の対応番号は本体の製品ラベルに表示されています。この番号より取り付け導線とそれらの報告値を対応させてください。

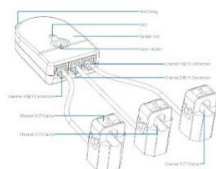


下記の2つの操作手順を確認後、ご使用開始下さい。

1. 自動登録法 (Learn ボタンを押す)

導線の電流よりエナジーハーベスティングを行い動作するセンサの為、登録を行い動作を開始させるにも、下表に示す最低電流値を必要とします。この条件を満たす場合、各クランプを導線に挟み込み、その状態で30秒間おいてください。その後適切な工具（非金属・非導体の素材で鋭利なもの）でセンサ本体下部にある Learn ボタンを押して下さい。LED が点滅し三相CTクランプセンサが動作を始めます。

派生	周波数	動作開始・通常操作に必要な最低電流 (3相合計で)	計測上限値
60A	868MHz 902MHz 928MHz	1A	65A
200A	868MHz 902MHz 928MHz	2A	210A
600A	868MHz 902MHz 928MHz	2A	620A



2. マニュアル登録

その他の方法として、お手持ちのエンオーションネットワークへマニュアル操作で登録を行い動作を開始することも可能です。これを行う為には、製品ラベルに記されているこのセンサの ID とエンオーション機器プロファイル (EEP) が必要です。

電流を正しく計測するには、クランプ内部フェライト部分が確実にまた均一に接触する様に導線を挟み込んでください (1クランプにつき1導線)。常設で長期的に使用される場合は、結束バンドを用いて機器を導線部に固定することも可能です。

設置・動作開始後、センサは30秒間に5回の計測を行いその平均値を30秒毎に送信します。計測対象の導線に流れる電流の合計値が上記に表示する値を下回る場合は、エンオーション信号の送信・報告を行うことはできません。

この機器はエンオーション STM モジュールを無線データ通信に使用し、エンオーション機器プロファイル (EEP) はセンサ本体のラベルに示す通り D2-32-02 を採用しています。

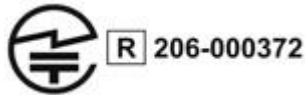
製品仕様

1 相当りの測定範囲 60A	1A-60A
1 相当りの測定範囲 200A	2A-200A
1 相当りの測定範囲 600A	2A-600A
測定周波数	50 or 60Hz
分解能 (精度はアンペア又は%のどちらか値の大きい方を参照とする)	60A = +/- 0.1A or 2% 200A = +/- 0.1A or 2.5% 600A = +/- 1A or 3%
送信間隔	30 秒
報告値	3 相各相の測定値(A)
リピート機能	非対応
設置環境	屋内
筐体素材	ナイロン 66
サンプリング	30 秒に 5 回計測、平均値を報告
テレグラム	VLD
キャリブレーション	必要なし
使用時温度・湿度範囲	-5°C to +40°C; 0%-85% RH
保管時温度・湿度範囲	-20°C to +55°C; 0%-85% RH
計測可能な導線の直径 60A	10mm 以下
計測可能な導線の直径 200A	24mm 以下
計測可能な導線の直径 600A	36mm 以下
クランプ部寸法 60A	約 25mm x 22mm x 35mm
クランプ部寸法 200A	約 35mm x 45mm x 65mm
クランプ部寸法 600A	約 65mm x 41mm x 85mm
センサ本体寸法	約 77mm x 51mm x 22mm
EEP	D2-32-02

日本電波法への準拠

- プレサック 3相CTクランプセンサ V3 60A - 928 MHz
- プレサック 3相CTクランプセンサ V3 200A - 928 MHz
- プレサック 3相CTクランプセンサ V3 600A - 928 MHz

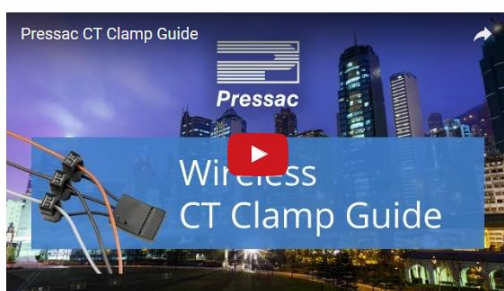
この製品は日本電波法に準拠し ARIB STD-108 の技術適合認証を取得しています。



技術基準適合証明書についてはプレサック社（下記住所）へお尋ねください。ご要望に応じ技術基準適合証明書のコピーも発行いたします。

Robert Smith
Technical Director
Pressac Communications
145 Glaisdale Drive West
Nottingham
NG8 4GY

Copyright © 2016 by Pressac Communications Ltd. All Rights Reserved.



Copyright © 2016 by Pressac Communications Ltd. All Rights Reserved.